

なぎそ 議会だより

委員会報告など

10月31日午後、国道256号改良促進特別委員会と経済観光常任委員会が合同で木曾建設事務所との意見交換会を開催しました。

意見交換会に先立ち、木曾建設事務所の案内で現在工事中の現場視察を行い、進捗状況と今後の予定等について説明を受けました。



写真①：国道256号の工事状況
鍋割橋（新称）がほぼ完成



写真②：川向の右岸道路
工事中の「ませの洞橋」付近の状況

◆現地視察の概要

国道256号は、漆畑で社会資本整備総合交付金事業と防災安全交付金事業によりメタルロード工や舗装工などの道路築造工や、現在の「梨の木沢橋」の下流側の「鍋割橋」（新称）の橋梁上部工が進行しています。この工事区間は、今年度中には完成予定とのことでした（写真①）。

木曾川右岸道路では2ヶ所を視察しました。田立下切の大滝川橋付近では、坪川の右岸の取付道路を見ながら今後の工事計画を伺いました。

また、三留野川向においては、工事中の「ませの洞橋」付近の状況を見学しました（写真②）。

報告

国道256号改良促進特別委員会
経済観光常任委員会

道路工事現場の視察 木曾建設事務所と意見交換会

◆意見交換会の概要

- ・田立と三留野間の右岸道路の計画は、
↓簡単ではないが、国道19号は重要物流道路であり、ダブルネットワークとしての右岸道路を考えていきたいと思います。
 - ・高瀬橋は幅が狭い。川向の右岸道路開通に合わせ対策を。
↓良い方法がないか調査します。
 - ・道路の歩道などに草が繁っているが管理は。
↓県の管理道路の予算は年に1回程の草刈りです。地域のアダプト団体が行う道路愛護作業を支援しています。
 - ・リニア計画に関し、国道についてのJ
Rとの協議はないか。
↓現在、関連協議はありません。
 - ・神坂スマートインターチェンジの現状は。
↓改良工事に着手しています。
 - ・吾妻橋付近（戸女橋）のり面対策や、急傾斜地の工事はありがたい。今後の工事についても地元建設会社に発注をお願いしたい。
- また、木曾建設事務所からはこうした意見交換会の方向性について、町づくりにとってより総合的な視点から開催されることの期待の発言もありました。

報 告

国有林対策特別委員会
工事が進む支署新庁舎の視察
森林管理署南木曽支署と意見交換会

11月5日、国有林対策特別委員会が開催されました。

現在建て直されている木曽森林管理署南木曽支署の状況を見学させていただき、そのあと意見交換会を行いました。

見学では、南木曽らしい外観に配慮していること、内装に木材を多用していることなどの説明を聞きながら、引き続き南木曽町に森林管理署支署が存在していくありがたさを感じました。完成が待ち遠しいところです。



南木曽支署の新庁舎工事



工事現場での説明

◆意見交換会

意見交換会では、森林管理署から南木曽支署管内での今年度の事業計画や、二ホンジカの分布状況、また「森林経営管理法」についてなどの説明がありました。

質疑の中では、今年初めて蘭地区の治山現場を、住民に見ていただき好評でした。今後も、地域から国有林での作業などを見学したいという要望があれば検討していきたい旨の答えがありました。

その他、林道の整備や開設計画などに関すること、バイオマスに関することなど活発な意見交換となり、充実した委員会となりました。

平成30年度 木曽郡町村議会議員総会の報告

今年度の木曽郡町村議会議員総会は、8月8日に予定されていましたが、大桑村で発生した山林火災のため中止となりました。このため各町村から提出されていた議案については、9月に開催された各町村議会において審議され、木曽郡の議長会において審議内容と要望事項が取りまとめられました。その後、県の機関や関係する中央省庁などへの要望活動は、例年通り議長会によって10月に行われました。

また、総会に先立つ6月9日に木曽町の「木曽郡民会館」において議員研修が行われ、講師の阿部県知事から県の5か年計画についての説明と、県政への質疑応答がありました。

◆各町村からの提出議案

- ①人材育成拠点の形成と林業大学の拡充 (木曽町)
- ②今後の民有林整備について (上松町)
- ③私有林の集約化と経営管理受託体制の構築について (南木曽町)
- ④中学校の総合型地域スポーツ活動推進について (木祖村)
- ⑤野生鳥獣による被害対策の推進について (王滝村)
- ⑥木曽路の眺望景観に係る観光の推進について (大桑村)
- ⑦木曽地域の主要道路整備促進について (木曽郡町村議会議長会)

6月9日 議員研修

演題：「学びと自治の力」で
 拓く新時代
 講師：阿部県知事



講演する阿部県知事